

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
相談援助実習指導 I		選択	2	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
梅沢 佳裕 他	B310	y.umezawa	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>相談援助実習(学外現場実習)は、実際に患者や利用者が生活している場の実習生として参加する。ここでは、学外現場実習に向けて必要となる基礎的・専門的知識を身につけることを目的とする。</p> <p><概要>相談援助実習に向け、対外的なやり取りの基礎からソーシャルワークの定義・価値まで幅広い知識内容を講義する。また授業の進め方は講義だけではなく、学生間のディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションを通して相互の意見交換を活発に行い、相談援助実習に向けての心構えを身につけていく。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・デバート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク
学習上の助言	学外実習に向けた事前学習を行うため、社会福祉士に関する知識を総合的に学んでおくことが望ましい。				
教科書	ソーシャルワークを学ぶ人のための相談援助実習/監修：日本福祉大学社会福祉実習教育研究センター/中央法規出版				
参考書	特になし。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	各自の課題を考察し、学外現場実習に向けて必要な知識を習得できる。			HSU(1)、WP(1)、WP(2)	
②	具体的に目標を明確にするための基礎知識を習得できる。			HSU(1)、WP(1)、WP(2)、WP(4)	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション(演習の進め方、評価についての説明)福祉の概念整理と用語の理解を深める。	講義	講義中出された課題に取り組む。	3	
2	ソーシャルワークに必要な力について理解を深める。	講義・演習		3	
3	ソーシャルワークの定義と社会福祉士の定義について理解を深める。	指導・演習		3	
4	ソーシャルワーク専門職の法的位置づけについて理解を深める また、実習評価表を用いて自己の課題を明確化する。	指導・演習		3	
5	社会福祉士の実践分野について理解を深める。	発表	各分野のプレゼンテーションのための準備を行う。	4	
6	児童福祉分野について理解を深める。	発表		6	
7	障害者福祉分野について理解を深める。	発表		6	
8	高齢者福祉分野について理解を深める。	発表		6	
9	地域福祉分野について理解を深める。	発表		6	
10	保健医療福祉分野について理解を深める。	発表		6	
11	実習終了者の報告(発表)などを通して、各自の課題を考察し、今後の学習目標を定める。	指導	講義中出された課題に取り組む。	2	
12	実習終了者の報告(発表)などを通して、各自の課題を考察し、今後の学習目標を定める。	指導		2	
13	実習生としての心構え、課題への取り組み方について学ぶ。	指導		2	
14	実習生としての心構え、課題への取り組み方について学ぶ。	指導		3	
15	全体の総括として、実習に向けた自己の課題を明確にする。	指導	全体を通しての復習を行う。	5	
試	定期試験を実施する。 達成度評価・評価のポイントを参照する。				

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計	
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		
		100	0	0	0	0	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80	
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0	
問題を発見・解決する力		0	0	0	0	0	0	
評価のポイント			評価の実施方法と注意点					
評価方法	行動目標						フィードバックの方法	
試験	①	✓	学期末に筆記試験（選択式）を実施して評価する。詳細については、講義中に説明する。 学外現場実習では、今まで学んできた科目すべての知識が求められるため、定期試験は幅広い範囲から出題される。					試験結果を掲示する。
	②	✓						
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	田村正人							
教員の実務経験	梅沢佳裕：ソーシャルワーカーとして7年の実務経験。田村正人：社会福祉士資格を取得後8年の実務経験							
実践的授業の内容	教科書に記載されている一般的事項を教えつつ、社会福祉士としての教員自身の実例を示し、その実践知と教科書に記載されている理論知を比較しながら学習する。その場合、授業は欠席として取り扱う。							
そ の 他	今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。 全15回が登校型授業（対面授業）であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。							